ソフトウェアシンポジウムの投稿要領について

小笠原 秀人
千葉工業大学
ss2027inquiry@sea.jp

富松 篤典
熊本県情報サービス産業協会
ss2027inquiry@sea.jp

要旨

このテンプレートはソフトウェアシンポジウム用に作成されました．テンプレートに不備がある可能性もあるので，その際はなるべくこの書式に合う形で記述して下さい．

1. はじめに

この Word テンプレートはソフトウェアシンポジウム用に作られたものです．

冒頭の表題部分は，1 列の表になっていて，日本語の表題・著者・アブストラクト，英語の表題・著者・アブストラクトを書くための 6 行があります．表題・著者・アブストラクトにはそれぞれ同名の Word スタイルが用意されています(日本語・英語共通)．

2. 文書体裁ついて

2.1. テキストのレイアウトについて

本文は二段組み，標準スタイル(9pt，行間隔は 13pt. MSP 明朝+Times Roman)になっています．各段落は段落頭にインデントがつきます．

2.2. 句読点について

句読点には全角の「，」,「．」を用います。

2.3. 参考文献について

参考文献記載用に「参考文献」スタイルが定義されています．TeX のようにクロスリファレンスで自動的に番号を付けるには，ブックマークと相互参照を使う方法があります．古い Word では相互参照は、クロスリファレンスになります。

下の例では，参考文献の Design Patterns のパラグラフの最後に “DesignPattern”というブックマークを定義しています．これに対して相互参照で，「参照する項目」に[ブックマーク]，「相互参照の文字列」に[段落番号]を選び，参照先のブックマークを指定して[挿入]します．これを実際に行ったのが次の文です: デザインパターンの文献は[1]です．古い Word では数字を[]で囲む必要があります。参考文献を増減してもすぐには番号が変わりませんが，挿入した相互参照上で F9（または Alt-Shift-U）を押すと更新されます．

参考文献

[1] Gamma, E. et al. Des*ign Patterns: Elements of Reusable Object-Oriented Software*, Addison-Wesley, 1995

[2] 岸知二，中所武司編，オブジェクト指向最前線 情報処理学会OO’97シンポジウム，朝倉書房，1997